

岐阜新聞朝刊・県内版(2016.12.15)

岐阜県スーパーハイスクールセッション

21 県内総合

第3種郵便物認可

岐 阜



岐阜県を活性化するための企画を発表する生徒
＝岐阜市則武新屋敷、県岐阜商高校

高校生、県活性化に知恵

スーパーハイスクール 7校集い 討論、提案

文部科学省のスーパーハイスクールに指定されている高校の生徒が集い、岐阜県の活性化策を考える「スーパーハイスクールセッション」が、岐阜市則武新屋敷の県岐阜商高校で開かれた。同スクールには理数科教育や国際教育、専門職教育の3分野で大垣、関、恵那、岐阜、農林、県岐阜商、大垣、アイデアコンク

果を生かして新たな事業展開につなげる目的で県教育委員会が本年度初めて開いた。別の学校の生徒も交じって七つの班に分かれ、岐阜を元気にする一をテーマに案を話し合ってきた。

最終回のアイデアコンクールでは、各班が調べたデータや事業内

容をパワーポイントを使って説明した。他の生徒からは鋭い批判や質問が飛んだ。加藤直樹岐阜大教授らが審査員を務めた。

最優秀賞に選ばれた班は、岐阜県が観光客が多いにもかかわらず魅力度ランキングで下位なのは、美濃地方の知名度の低さが原因と分析。各高校が開発した商品を販売し、生徒が美濃地方の観光地を紹介する「高校生観光案内所」を提案した。
(大賀由貴子)